

提言の内容について（前回のまとめ）

協議テーマ：子どもをとりまく社会教育のあり方について

— 学ぶ喜びと居場所のために —

協議の視点：①地域における子どもの学びと居場所

②外国にルーツを持つ子どもの学びと居場所

これから提言をまとめるにあたり、ヒアリング調査等を踏まえ、提言に盛り込むべき内容等について各項目にそってご協議ください。

1. ヒアリング調査で聴き取った内容を踏まえ、「子どもをとりまく社会教育」という点でどのような問題や課題があるかご記入ください。また、うまくいっている事例があった場合、その内容についてもご記入ください。箇条書きで構いません。

〔地域グループ〕

（１）問題・課題

- ・ 資金面を含めた行政や企業、地域との連携の取り方
- ・ スタッフや後継者の育成
- ・ 情報管理（参加者・利用者のプライバシー保護等）

（２）うまくいっている事例

- ・ 子どもたちにやりたいことを選ばせることで、興味を持って楽しんで活動してくれる場になっている

〔外国グループ〕

（１）問題・課題

- ・ 社会教育の現場において、参加の仕掛けづくりが弱まっている可能性がある

（２）うまくいっている事例

- ・ オープンスペースの活用（外国人の子ども・サポートの会）

2. 上記1の状況を踏まえ、「子どもの学ぶ喜び」や「居場所」に関して社会教育（社会とのつながり，地域づくり，人材育成等）が果たすべき役割としてどのようなことが考えられますか。

〔地域グループ〕

- ・情報発信や運営資金，場所の問題のサポート
- ・人材育成のサポート
- ・団体等のニーズの把握とサポート

〔外国グループ〕

- ・参加の第一歩を踏み出させたり，誘導したりする仕掛けづくり
- ・団体等が誘導・仕掛けづくりを行う際のカバー

3. 提言をまとめるにあたっての基本理念あるいは基本的考え（グループ内での共通するキーワード・基本となるキーワード等）はどのようなことでしょうか。

〔地域グループ〕

- ・人材育成
- ・情報発信
- ・安心感の持てる環境

〔外国グループ〕

- ・知る（事業や活動への参加者どうしのことや，仙台・宮城といった土地について）
- ・（知ることを通して）つながり，混ざる
- ・いろんな人が一緒に，対等に活動する場をつくる
- ・発想や見方の転換（支援の対象として見られていた外国にルーツを持つ人々が，支援の主体となる等）

4. 提言をまとめるにあたって、留意すべきこと、検討すべきこと（その他、上記の項目以外で盛り込みたいこと）があれば、自由にご記入ください。

〔地域グループ〕

- ・プライバシーや関係者へ配慮した表現とする（関係者が目にした際の受け取り方に留意する）
- ・テーマや副題との整合（場合によっては対象となる子どもに沿ったものを検討する必要があるのではないか）

〔外国グループ〕

- ・社会教育施設等における仕掛けづくりについて、実態を把握する必要がある

5. 「地域における子ども」の対象について

今回、調査先としては、不登校や障害のある子どもを支援している団体へのヒアリングを行いました。そのような子どもたちを対象を絞った提言としたほうがよいか、当初のとおり、広い意味での「地域」の子どもを対象とした提言とするか（たとえば、子どもたちが多様化している中でのインクルーシブな視点を含んだ提言など）、方向性をご協議ください。

○両グループに共通・関連するキーワード等

- ・場所（地域グループ：場所の問題のサポート 外国グループ：オープンスペース）
- ・情報（地域グループ：情報発信 外国グループ：知る）